

令和4年度第4回四條畷市総合戦略協議会 会議録

日 時	令和5年3月24日（金）10:00～10:20
場 所	市役所本館 3階 委員会室
出 席 者	石関委員（会長）、上村一彦委員（副会長）、三原委員、小西委員、中川委員、角田委員、中野委員、相良委員
欠 席 者	島田委員
事 務 局	西尾総合政策部長、鈴木総合政策部副参事兼企画広報課長、藤戸企画広報課長代理兼主任
議 題	1 開会 2 議題 次第1 人口ビジョン（改訂版・案）及び第2期四條畷市総合戦略（案）について 次第2 今後のスケジュール 3 閉会
配布資料	・資料1 四條畷市人口ビジョン（改訂版・案） ・資料2 第2期四條畷市総合戦略（案） ・意見公募手続結果概要

（文中敬称略）

事 務 局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、定刻となりましたので進めてまいります。 皆様方には、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。 本日の出席委員8人、欠席委員1人でございます。 四條畷市総合戦略協議会規則第3条第2項の規定に基づき、出席者が過半数を超えておりますので会議が成立することを報告いたします。 まず初めに、事務局側の職員を紹介させていただきます。 総合政策部長の西尾でございます。 企画広報課課長代理の藤戸でございます。 最後に企画広報課長の鈴木でございます。 どうぞよろしく願いいたします。 それでは石関会長、よろしく願いいたします。</p>
石 関 会 長	<p>それでは、ただいまから令和4年度第4回四條畷市総合戦略協議会を開会します。事務局、本日の資料の確認をお願いします。</p>
事 務 局	<p>はい、本日の資料については、事前に送付しております、資料1四條畷市人口ビジョン（改訂版・案）、資料2第2期四條畷市総合戦略（案）、また、本日も机上にお配りした、次第、座席表、名簿、意見公募手続結果概要です。 皆様、資料はお揃いでしょうか。 それでは、以降の進行を会長にお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。</p>

石 関 会 長	<p>それでは、次第に入る前に、四條畷市総合戦略協議会条例第4条第2項に規定する金融機関の関係者として、りそな銀行四條畷支店長が交代されたことに伴い、石井正太様にかわり、三原明子様が新たに委員として委嘱されましたので、自己紹介をお願いしてもよろしいですか。</p>
三原委員	(自己紹介・ひとこと)
石 関 会 長	三原様、ありがとうございました。
石 関 会 長	<p>2 議題 それでは、次第に沿って会議を進めます。 まず、人口ビジョン（改訂版・案）及び第2期四條畷市総合戦略（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>本協議会におきまして、これまで議論を重ねてまいりました四條畷市人口ビジョン（改訂版）と、第2期四條畷市総合戦略につきまして、第3回協議会后、事務局で原案としてとりまとめ、令和5年2月15日から3月14日までの1か月間、2月号広報誌及びホームページ等を活用し、意見公募手続き（パブリックコメント）を実施いたしました。</p> <p>その結果、四條畷市人口ビジョン（改訂版）と、第2期四條畷市総合戦略において、それぞれ1件の意見がありましたので、その内容と、意見に対する市の考え方について、ご説明いたします。</p> <p>別紙、意見公募手続結果概要をご参照ください。</p> <p>まず、四條畷市人口ビジョン（改訂版・原案）に対する意見結果概要について、ご説明いたします。提出意見の件数は1件、意見の内容は「第4章 めざすべき将来の方向」に関することとございます。</p> <p>意見の概要としましては、『P25 第4章 めざすべき将来の方向、四條畷市は、市長自らが市職員のミスをも市民の責任に転嫁しようとするような市政を行っています。そして、そのような態度が市職員にも蔓延しているのか「市民ファーストなどという考えはない」と市職員に明言されたこともあります。今後は従来の方針を転換し、職員の皆様が「市民ファースト」と胸を張って言えるような市政を行ってください。私はこれまでの経緯もあり、今年中に他市に転出するつもりです。「自然減を抑制する」前に、転出したいと思わせてしまう市政を変える必要があると思います。また、忍ヶ丘駅周辺は、活断層等が絡み合う地域であるにも関わらず、断層等の正確な位置が断定されていません。このほど旧南中でのボーリング調査において一部活断層の正確な位置が明らかになりましたが、南中を廃校にする一方で、その活断層の推定延長上に新築のマンションや戸建て住宅が多数建設され続けています。人口を増やすためにリスクの高い場所に住民を転入させることがあっても良いのかよく考えてください。市職員が「危険な地域に住むのは自己責任である」と発言されましたが、そのような状態を放置すべきではありません。』でございます。</p> <p>この意見に対する考え方としましては「四條畷市人口ビジョン（改訂版）は、最新のデータに基づく人口動向の分析及び人口の将来展望を示すものであり、</p>

具体的な政策の方向性については、第2期四條畷市総合戦略で定めることとしております。いただいたご意見は、市政運営を担う職員の資質の向上を求めるものであると思料いたしますことから、ご意見を真摯に受け止め、本市のめざす将来展望の実現に向け、より良い市民サービスの提供ができるよう市を挙げて取組んでまいります。」としております。このことから、同ビジョンに対してご意見の反映は見送らせていただきました。

次に、第2期四條畷市総合戦略（原案）に対する意見結果概要について、ご説明いたします。提出意見の件数は1件、意見の内容は「本市が抱える課題」に関することでございます。

意見の概要としましては、『P6本市が抱える課題、「本市が抱える課題」に重要なポイントが抜けています。それは「公共交通機関の不便さ」です。これは学研都市線で通勤・通学する人は全ての市民が感じていることかと思えます。学研都市線が神戸線へ乗り入れるようになってから、京都線でのトラブル、神戸線でのトラブル、特急はるかの遅延など、事ある毎に学研都市線が巻き込まれて遅延が発生します。1時間以上快速しか来なくなり忍ヶ丘駅に辿り着けなくなるというトラブルも年数回以上発生します。これは他地域に住む人にも結構有名で、学研都市線沿線に住むことをためらう原因の一つとなっております。特に四條畷市は、京阪電車の駅から離れており学研都市線が遅れたときの代替交通手段がありません。四條畷市の付加価値向上のために、JRと交渉し、神戸線への乗り入れをなくすなり、トラブル時は尼崎駅や京橋駅からの折り返し運転を行う、快速を忍ヶ丘駅に止めてもらう等の交渉を市を挙げて行うべきです。「大阪駅から30分」の立地の利点を強みにできるようにすべきと思えます。』でございます。

この意見に対する考え方としましては『第2章、本市が抱える課題においては、1人口から抽出される課題と2市民意識調査から抽出される課題の二つの視点から課題抽出をしております。市民意識調査においては、「交通の便が悪い」と感じている市民の割合が高いとの結果がでていることから、2市民意識調査から抽出した2つの課題、(1)定住意向、(2)市の推奨度の両方の項目にご意見をいただいた「公共交通機関の不便さ」も含まれているものと考えております。しかしながら、ご意見をいただいた乗り入れ等の鉄道の運行については、鉄道事業者が主体となり、計画、運用されるものであること、また、利便性は、人により捉え方が異なるものと思料いたしますことから、本計画に基づく取組みには位置付けておりません。なお、ご意見にもありました、忍ヶ丘駅は、本市唯一の鉄道駅であり、駅及びその周辺を含めた都市基盤の充実は、本市発展に重要な役割があるとの認識から、毎年JR西日本旅客鉄道に対して、利便性向上に向けた要望活動を行っており、今後も引き続き要望を続けてまいります。』と考えております。このことから、同戦略に対してご意見の反映は見送らせていただきました。

なお、意見募集後、事務局において、軽微な文言修正を行いたい箇所がございましたので、それらを反映し、この度、四條畷市人口ビジョン（改訂版・案）、第2期四條畷市総合戦略（案）としてお配りさせていただいております。

続いて修正箇所をご説明します。

四條畷市人口ビジョン（改訂版・案）については、修正はございません。

続いて、第2期四條畷市総合戦略（案）の18ページをご覧ください。「基本目標1」、「ひとづくり」、「重要業績評価指標（KPI）」の表の3つ目、「知識、技術、経験を仕事や地域、社会での活動に生かしていると答えた割合」としていたところ、「答えた人の割合」に修正しています。

また、同様の修正として、19ページ、「基本目標2」「まちづくり」「基本的方向1」の「重要業績評価指標（KPI）」の表の2つ目、また、同19ページ、「基本的方向2」「重要業績評価指標（KPI）」の表の2つ目についても「答えた人の割合」と修正しております。

さらに、20ページの「基本目標3」「しくみづくり」「基本的方向1」「重要業績評価指標（KPI）」の「この地域で今後も子育てしていきたいと答えた割合」についても、「答えた人の割合」として、統一した修正を行っております。

修正箇所は以上となります。

なお、同20ページに記載しております、「基本的方向2」健康寿命の延伸の施策に係る「重要業績評価指標（KPI）」の基準値として記載している平均寿命と健康寿命の差について、前回の協議会で、委員から認識している数値との差が大きく誤りではないかのご指摘を受け、担当部署を通じて確認したところ、不健康な期間については、国は都道府県単位で、3年ごとに介護保険の認定率や意識調査（個人の主観）をもとに算出しており不健康な期間（2016年時点）として男性約9年・女性約12年とされていますが、大阪府では毎年、市町村単位で計測し、国と算定方法が違うため、数値も異なる状況でございます。本市のKPIでは、大阪府の数値を使用しているため、記載の数値で誤りがないことを確認していますので、ご報告いたします。

石 関 会 長 ただいまの事務局からの説明につきまして、委員の皆さまからご意見、ご質問等ありませんか。

小 西 委 員 18ページの修正、「答えた人の割合」ということですが、記載が「人の答えた割合」となっており、前と後ろが逆ですね。

事 務 局 失礼いたしました。ご指摘のとおりです。訂正いたします。

石 関 会 長 他にご意見はございませんか。
他に無いようですので、四條畷市人口ビジョン（改訂版）及び第2期四條畷市総合戦略の策定を進めることについてご異議はございませんか。

（異議なし）

石 関 会 長 また、軽微な文言修正については、事務局に一任してよろしいですか。

（異議なし）

石 関 会 長	<p>異議がないようですので、事務局よろしく申し上げます。 続いて、次第2今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>今回をもちまして、四條畷市人口ビジョン（改訂版）及び第2期四條畷市総合戦略の策定に関する議論は終了となります。 業務ご多忙中の中、長期間にわたり、本協議会への出席及び改訂に向けた議論にご協力を賜りましたことに、感謝を申し上げます。 次回は、総合戦略の令和4年度実績及び、令和5年度の取組み状況についてご報告させていただきたく、来年、令和6年の1月～2月ごろの実施を考えております。日程が近づいてまいりましたら、改めて日程調整のご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
石 関 会 長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見等ありませんか。 ないようですので、ただいまをもちまして、令和4年度第4回四條畷市総合戦略協議会を閉会します。 ご協力ありがとうございました。</p>